

**2015年度 日本文化人類学会  
第2回理事会 議事録 (案)**

日時：2015年5月9日(土) 14時～18時

会場：関西学院大学 東京丸の内キャンパス ランバスホール

<出席者> 関根、赤堀、上杉、太田、岡田、春日、岸上、栗田、窪田、桑山、湖中、田中、名和、真島、松田、松村、山本

<委任状提出>池田、石田、亀井、慶田、瀬川、和崎

**〔承認事項〕**

1. 2015年度第1回理事会議事録
2. 新入会員(8名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。

**〔報告事項〕**

1. 会長報告
  - ・第51回研究大会開催校について検討中であることを報告。
2. 庶務理事報告
  - ・2015年度総会で黙祷を捧げる物故会員について確認。逝去時に会員ではなかった元会員1名について、理事からの要請に基づき検討を行った結果、弔意規程を準用し、2015年度総会で黙祷を捧げることにした。
3. 会計理事報告
  - ・平成27年度科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)「国際情報発信強化(B)」の交付申請書の提出準備中であることを報告。
  - ・2014年度決算及び学会50周年記念国際大会収支決算に関する会計監査を5月15日に事務局にて実施予定であることを報告。
4. 総務理事報告
  - ・平成27年度科学研究費助成事業(研究成果公開促進費)「成果公开发表(B)」の交付申請書を提出したことを報告。
  - ・2015年度公開シンポジウムの日程(11月8日於金沢)及びプログラムについて報告。
5. 広報理事報告
  - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき6件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
  - ・「J-STAGE サービス方針説明会」が5月11日に開催されること、赤堀理事と事務局員が栗田理事の代理で出席する予定であることを報告。
7. 各種委員会報告
  - ・『文化人類学』編集委員会：80巻1号の進捗状況を報告。
  - ・JRCA編集委員会：Vol.16の特集論文の募集期間を延長したこと、その後の応募状況について報告。
  - ・「国際情報発信強化」特別委員会：真島理事より、5月31日開催(於大阪国際交流センター)のラウンドテーブルのプログラム及び概要について説明があり、登壇者は5月30日14時～14時30分に大ホールで打合せを行うこととした。岸上理事より、ラウンドテーブルに関する広報の依頼があり、JASCA-INFO配信することとした。
  - ・研究大会運営検討委員会：第49回研究大会の参加費は納入済みであるが参加登録していないケース、あるいはその逆のケースが見られるので、JASCA-INFOにより注意喚起を行う可能性があることを報告。
  - ・文化人類学教育委員会：若手支援検討ワーキンググループより提案のあった大学院における文化人類学教育に関するアンケート用紙を配布したことを報告。

**〔審議事項〕**

1. 2014年度事業報告書・2015年度事業計画書(案)について
  - ・松村理事より、資料に基づき2014年度事業報告書・2015年度事業計画書(案)について前回からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、文言調整の上、評議員会へ諮ることとした。

## 2. 2014年度決算・2015年度予算（案）について

- ・赤堀理事より、資料に基づき2014年度決算・2015年度予算（案）について、2015年度予算（案）について今後の事業の見直しを受けて前回理事会から変更を行った点を中心に説明があり、審議の結果、文言調整の上、評議員会へ諮ることとした。また、今後、学会誌の抜き刷りの無料配布、和文誌の英文校閲費、IUAESの会費分担金等の見直しにより、経費削減を進める必要があることを確認した。なお、IUAESは個人会員から徴収する会費により運営を行うという方針転換を行っており、学会に対する分担金請求は移行措置であるとの理解に基づき、WCAAへの毎年の寄附と併せ、今後の見直しについて、今年開催されるIUAESの中間会議（於バンコク）とWCAA会議において会長より問い合わせを行うこととした。
- ・赤堀理事より、学会の財政が危機的な状況にあるため、財政の立て直しに向けて早急に対策をとる必要があることが説明され、審議の結果、今年度の評議員会・総会において会費の値上げを視野に入れながら学会の危機的な財政状況について説明を行うこととした。

## 3. 国際化・グローバル化対応委員会の設置を受けて

- ・関根会長より、「国際情報発信強化」特別委員会と国際化／グローバル化対応委員会の構成と職掌について提案があり、審議の結果、文言調整の上、承認された。なお、今期の国際化／グローバル化対応委員会の委員長は関根会長、副委員長は現WCAA Alternateである窪田理事とし、来期以降、総務渉外理事が副委員長及びAlternateとなることを確認した。

## 4. 学会誌の表紙デザインの変更について

- ・『文化人類学』編集委員会の箭内委員より、前回理事会での審議結果を受けて、2名のデザイナーへのヒアリングを実施したことが報告され、これを受けて、田中理事より、うち1名へ表紙のデザインを依頼することが提案され、審議の結果、承認された。なお、デザイナーへの選考結果の通知及び正式依頼については、田中理事が行うこととした。
- ・田中理事より、今後ワーキンググループに理事が加わって理事会への最終デザイン案提出までの作業を行うことが提案され、審議の結果、編集委員会の理事委員及び桑山理事、赤堀理事、真島理事がワーキンググループに加わり作業を進めることとした。なお、2015年度末の理事会における表紙確定を目途に、10月開催予定の理事会へのデザイン案提出を目指して作業を進めることを確認した。

## 5. 『文化人類学』新規企画に関わる提案について

- ・太田理事より、資料に基づき『文化人類学』新規企画に関する提案がなされ、審議の結果、従来の「論文」カテゴリーへのシニア研究者に対する投稿呼びかけについては「査読あり」で実施することとした。また、新企画として提案のあった「澁澤賞を受賞して」、「研究室訪問」、「追悼文」等のカテゴリーについては、従来のカテゴリー内で編集委員会の判断で進めることを確認した。それ以外の提案も含め、本件については、継続審議とすることとした。

## 6. 学会の法人化について

- ・山本理事より、評議員会・総会で法人化に関する提案を行うにあたり配布する資料の原案が提示され、審議の結果、文言調整の上、評議員会・総会に法人化へ向けた作業に入ることを提案することとした。なお、資料の文言調整については、総務会に一任することとした。

## 7. JRCAの編集委員の追加について

- ・桑山理事より、JRCA編集委員に堀口佐知子会員を追加することについて提案があり、審議の結果、承認された。

## 8. 第10回学会賞の授賞理由について

- ・欠席の和崎理事に代わり、真島理事より授賞理由について説明がなされ、審議の結果、承認された。

## 9. 三島海雲学術賞の学会推薦について

- ・松村理事より、第5回三島海雲学術賞推薦依頼があったことが報告され、審議の結果、過年度と同様、JASCA-INFOを通じて学会推薦候補者の募集を実施すること、配信文案については総務会に一任することが承認された。なお、学会推薦候補選出方法についても過年度と同様の手順で行うこととした。

## 10. その他

- ・松田理事より、資料に基づき、学会賞検討委員会において検討すべき課題とその検討状況について説明があり、意見交換の後、継続審議とすることとした。

- ・2015年度第4回理事会は7月5日（日）、第5回理事会は10月24日（土）。

以上